

令和6年度学校評価報告書

令和7年(2025年)3月11日

北海道教育委員会教育長 様

北海道旭川商業高等学校長 藤田 和 秀

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 旭商ブランドの確立 (2) 教育DXの推進 (3) 安心・安全な教育環境の確保 (4) 安心・安全な職場環境の確保 (5) コンプライアンスの徹底

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	重点目標は今日的課題に対応しており、実現に向けて概ね取り組んでいる。	例年より新しい取組を実践しており、学校教育活動の活性化が見られる。
改善方策	今年度行った高等教育機関や地域産業との協力体制を充実化し、地域創生や地域産業の持続的な成長を担う生徒の育成を進める。	
学習指導	学習内容の重点化、精選化は進められている。ICTの効果的な活用や生徒の個別最適な学びの推進では不十分との評価が多い。	ICTを活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に取り組み、授業改善を継続していく必要がある。
改善方策	ICTの活用のために、教職員に対し、校内外での研修等へ積極的な参加を働きかける。	
生徒指導	いじめ等の問題行動や学校不適應の未然防止や早期対応については全日制・定時制ともに概ね評価が高い。定時制では、特別支援を必要とする生徒への的確な指導が一層求められている。	教育相談の充実や中学校訪問などの引き継ぎなど、教職員による生徒理解を一層深め、不登校やいじめを未然に防ぐ取組を充実させてほしい。
改善方策	生徒理解を高める教育相談などをさらに強化するとともに、不登校やいじめの未然防止に向け、学校外の機関とも連携し、更なる生徒指導の充実を図る。	
進路指導	地域社会に信頼され、貢献できる人材の輩出については評価が高い。教職員の連携や進路情報の共有が求められている。	生徒へ早期からのキャリア指導を充実させ、多様化する進路に対応することのできる体制を確立してほしい。
改善方策	生徒の社会的・職業的な自立に向け、キャリア教育の充実を図る。進路指導や商業における授業を通じて、生徒自身がより主体的に進路を選択する力を養っていきたい。	
健康安全指導	一日防災学校や交通安全、薬物乱用防止教室など指導の充実を図っている。生徒、教職員ともに感染予防に係る適切な対応を図っている。	適切な評価であり、次年度以降の取組の継続を期待する。
改善方策	教職員に対し、学校内外での研修を促し、全教職員で健康安全教育への意識高揚を図る。特に不登校や特別な配慮を必要とする生徒への対応について改善していく。	
特別活動	生徒会活動や部活動は積極的に取り組むよう適切な指導を行っている。LHRや特別活動の計画を立案・実施については改善の必要がある。	今年度は学校外での活動や外部機関との連携など、積極的な取組が多く非常によい。今後とも、地域社会と連携した取組を推進していくことを望む。
改善方策	生徒の自主的な活動について更なる充実にも努める。高等教育機関や地域産業界との連携などを見直し、より充実した内容を実施できるよう、改善を図る。	
PR活動	中学校教員に対する説明会や学校見学会、中学校訪問について、概ね十分である。	中学の教員に対し、商業高校の取組についてさらに伝えていく取組が必要である。
改善方策	学科の特徴や特色ある教育活動を特に中学生に伝えていくため、説明会や見学会の充実を図る。また資格取得等についても、より広く発信することを継続していく。	
公表方法	Webページへの掲載	

3 添付書類

- 令和6年度 自己評価書
- 令和6年度 学校関係者評価書(学校評議員)